



CSR報告書2019

Corporate Social Responsibility Report 2019

0 | content

コンテンツ



1 | **トップメッセージ**
top message

2 | **会社情報**
company profile

3 | **トピックス2019**
topics 2019

4 | **経営とCSR**
management & CSR

5 | **ガバナンスの取り組み**
governance effort

6 | **お客様と、お取引先様とともに**
customer & business partners

7 | **従業員とともに**
with employees

8 | **安全衛生の推進**
health and safety

9 | **環境への取り組み**
environment

10 | **地域社会とともに**
community involvement

1 | top message

トップメッセージ

ものづくり王国愛知から 物流の未来を切り拓く



日本トレクス株式会社 代表取締役社長

中島 光彦

FUTURE



1 | top message

トップメッセージ



愛知の
ものづくり企業

愛知県は「ものづくり王国」と言われ、県内には世界に誇れるさまざまな企業が事業を展開しています。そのような中、当社はトレーラシェア日本一である点やニーズに合わせた製品開発を行なっている点などが評価され、愛知県より「2018年度 愛知ブランド企業」として認定されました。「ものづくり愛知」の名に恥じない世界に誇れる企業となれるよう、今後も地域社会とともに発展し、「お客様の信頼に応える最高の輸送機器とサービス」の提供に努めてまいります。



人手不足が
深刻な物流業界

当社が製造販売する製品は、主に物流に関わるものです。近年EC^(※1)市場が拡大し、私たちの生活は随分便利になりました。家にいながらPCやスマホを操作するだけで、翌日には買ったものが手元に届きます。ECの浸透に伴い、この10年間で貨物取扱量は大幅に増加したといわれています。その一方、少子高齢化によるドライバー不足の問題はますます深刻化をきわめています。



ダブル連結トラック



スワップボデー



大型冷凍バンボデー (PANECT)



ものづくりで
社会課題の解決へ

当社の「ダブル連結トラック」は、そういった社会的問題を解決することを念頭に開発されました。トラックにトレーラを連結し、一人のドライバーで2台分の荷物を運搬できる当製品は、小口配送の需要増を背景に今後大きな需要が見込まれています。また「スワップボデー」はトラックから荷台部を切り離すことで、これまでドライバーが担当してきた荷物の積み下ろしなどの運転以外の作業をドライバーから開放しました。運転業務とそれ以外の業務を分担することで、輸送効率の向上を実現しています。

それ以外にも、新たに開発した冷凍専用断熱パネル「パネクト」は、これまでの製品に比べ断熱性能を2割向上させることで、夏場の暑い季節でも安定した庫内温度を維持するとともに、パネル製作時のCO2排出量が極めて低い環境に優しい製品となっています。

こういった物流の輸送効率を上げる新しい取り組みは、国土交通省が推進する「強い物流^(※2)」にも貢献しています。



「選ばれる
トレックス」として

時代によって社会の状況は刻一刻と目まぐるしい変化が続き、物流業界からの要望も、効率・安全・環境対応など多岐にわたっています。その様々な社会課題の解決に向けて、当社は1964年の創業以来培ってきた技術とノウハウを活用し、ものづくりを通じて貢献していく必要があります。

すべてのステークホルダーから信頼され、いつの時代も「選ばれる持続可能な企業」となるため、今後も社会の一員としての責任を果たしてまいります。

※1) EC…eコマース(電子商取引)

※2) 強い物流…社会の状況の変化や新たな課題に対応できる物流

2 | company profile

会社情報

■ 会社概要

日本トレクス株式会社

所在地 愛知県豊川市伊奈町南山新田350
 設立 1964年(昭和39年)8月1日
 資本金 20億1,100万円
 株主 極東開発工業株式会社
 売上高 469億5,100万円(2019年3月期)
 事業内容 トレーラ、タンク、ウイングボデー、バンボデー、バンキット、
 コンテナ、シェルタ、各種部品などの輸送用機器の製造販売



本社事業所
 敷地面積 125,000㎡ / 建物面積 54,000㎡



音羽事業所
 敷地面積 21,000㎡ / 建物面積 13,300㎡



御津事業所
 敷地面積 36,000㎡ / 建物面積 10,000㎡

販売拠点とサービス工場

【販売拠点】

北日本営業部

- ① 北海道支店
- ② 東北支店

東日本営業部

- ③ 関東支店
- ④ 新潟営業所
- ⑤ 千葉支店

首都圏営業部

- ⑥ 東京支店
- ⑦ 横浜支店

中部営業部

- ⑧ 静岡支店
- ⑨ 名古屋支店
- ⑩ 富山営業所

近畿営業部

- ⑪ 大阪支店
- ⑫ 阪神支店
- ⑬ 岡山支店

西日本営業部

- ⑭ 広島支店
- ⑮ 西日本特販課
- ⑯ 九州支店
- ⑰ 南九州支店

特装営業部

- ⑱ 特装営業部

営業本部

- ⑲ 直納課

マーケティング部

- ⑳ マーケティング部



サービス工場
 全国 375社

【サービス拠点】

- ① 東部ロードサービス課(東京)
- ② 西部ロードサービス課(大阪)
- ③ 西部ロードサービス課(広島)
- ④ 西部ロードサービス課(九州)
- ⑤ 西部ロードサービス課(福岡)
- ⑥ トレクスサービスセンター北海道(2019年12月営業開始)

2 | company profile

会社情報

■トレックスの歴史・沿革

創業以来、輸送用機械器具製造メーカーとして、時代とともに変化する社会のニーズを捉え、満足いただける商品の提供を目標として活動してまいりました。

日本トレックスの半世紀にわたる歴史をご紹介します。

1964

日本トレルモービル(株)設立



1966

アルミ製ドライコンテナの
国産第1号を生産



1969

第16回東京モーターショーに
出品



1987

ウイングボデーを生産開始



1992

ウイング車1万台達成



2007

極東開発工業(株)が
当社発行済全株式を取得



2017

次世代断熱パネル
(PANECT)発売開始



1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020



1965

バンセミトレーラ試作
第1号車が完成



1968

タンクセミトレーラ第1号車を
生産



1978

海上コンテナ年間生産台数
過去最高の1万1052台を記録



1992

音羽事業所が操業開始



1996

社名を「日本トレックス」へ変更



2014

創立50周年記念式典開催



2019

愛知ブランド企業に認定

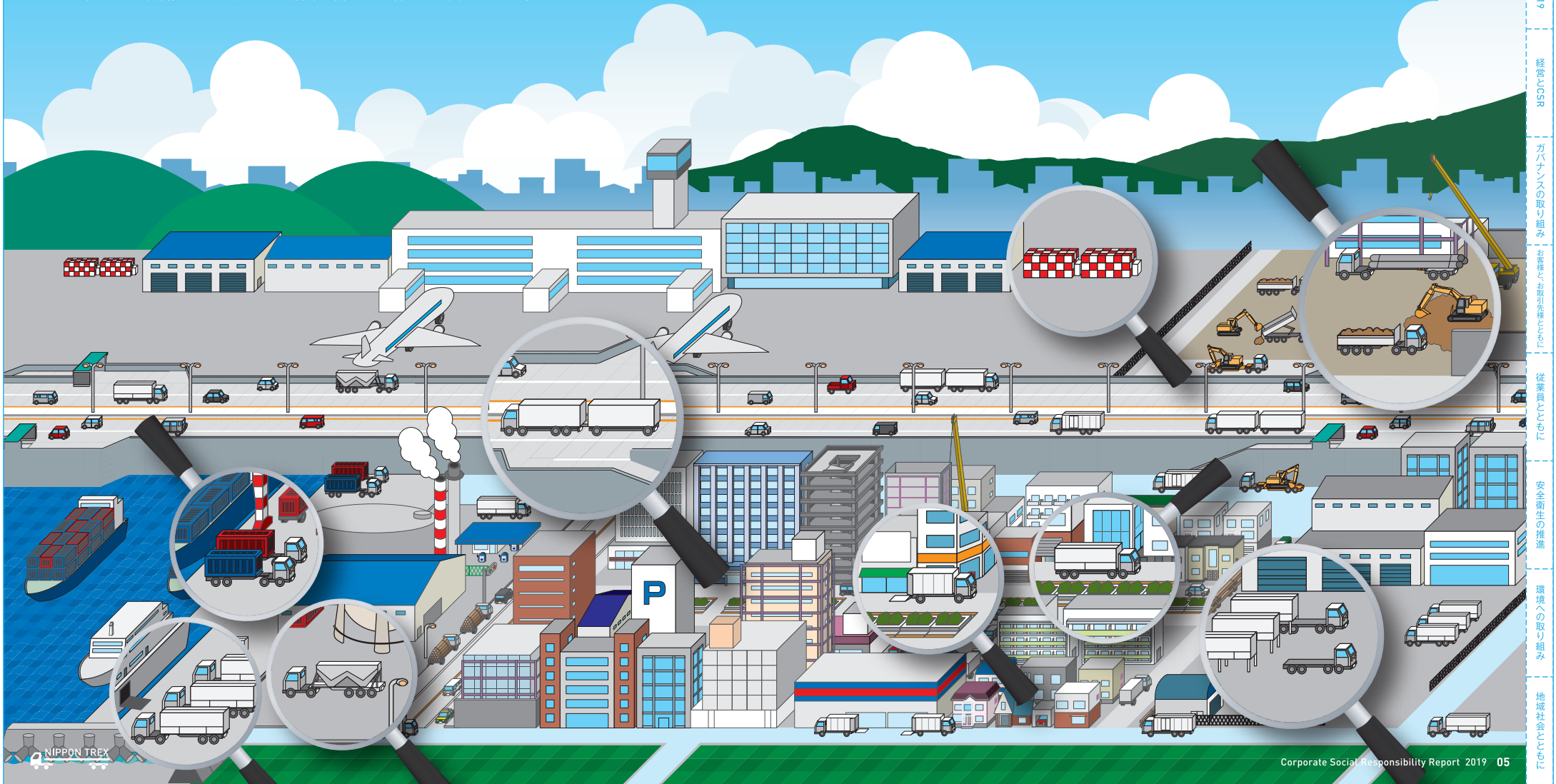
2 | company profile

会社情報

■ 主要製品

街を見渡せば、そこにトレクス。

私たちの製品は、日々あらゆる場面で皆さまの暮らしを支えています。



3 | topics 2019

トピックス 2019

1

日本トレクスレポート:01

NIPPON TREX Report:01

13

気候変動に
具体的な対策を

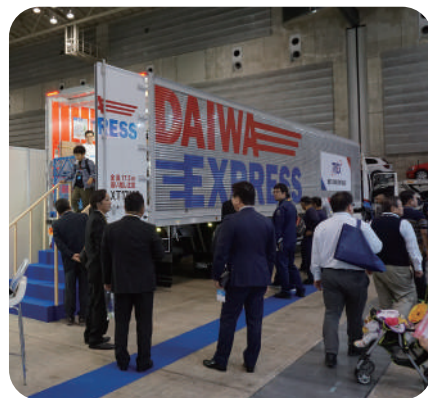


ジャパントラックショー2018へ「新基準バンセミトレーラ」を出展 【2018年5月10日～12日】

5月10日～12日までの3日間、パシフィコ横浜において「ジャパントラックショー2018」が開催され、当社はダイワ運輸(株)様に協力する形で「連結全長17.5m新基準バンセミトレーラ」を出品いたしました。荷室にはオールセーフ社製のダブルデッキシステムを搭載し、フロアを必要に応じて多段化することで、積荷を効率良く積載することを可能としています。会期中は運転席乗車体験を含め、多くのお客様から興味・関心をもって見学いただくことができました。



ジャパントラックショー2018 展示会の様子



2

日本トレクスレポート:02

NIPPON TREX Report:02

13

気候変動に
具体的な対策を



次世代断熱パネル(PANECT)キャラバンの開催 【2018年5月～2019年4月】

国内初のウレタンフォーム工法を採用した「次世代断熱パネル(PANECT)」を広く知ってもらうため、当社はキャラバントラックを新たに作り、北は北海道から南は鹿児島県まで全国を行脚し、185社のお客様のもとへ訪問を行いました。キャラバンでは実車を見学いただくことで、製品への理解を深めていただくとともに、多数のご意見・ご要望を頂戴することができました。今後もパネクトのPRを継続し、より良い製品づくりにつなげてまいります。



キャラバンの様子



3 | topics 2019

トピックス 2019

3 日本トレクスレポート:03 NIPPON TREX Report:03



御津1区車両プール開設【2018年11月】

製品駐車場の集約と事業所間の回送距離短縮を目的として、御津1区工業団地内に車両プールを開設しました。6ヘクタールの敷地内には最大650台のトラックおよびトレーラを保管することができ、4ヶ所に点在していた駐車場を1カ所に集約いたしました。駐車場を工業団地内に移管したことで、早朝・夜間の近隣への騒音を低減するとともに、回送距離短縮による燃料消費量およびCO2排出量の削減に貢献しています。



竣工式の様子



4 日本トレクスレポート:04 NIPPON TREX Report:04



直轄サービス拠点リニューアル【2019年1月】

2016年4月より当社子会社として業務を開始し、名古屋地区の基幹整備工場として、地域に根ざした活動を行なっている井上自動車工業(株)。この度、さらなるサービス体制の強化および業務拡大を目的とした全面リニューアルを行ないました。トレーラにも対応した2柱リフトや大型湿式塗装ブースを新たに備え、経験豊富な整備士がお客様の大切な車両の点検・整備を行なっています。



2柱リフトを使った整備の様子



竣工式集合写真

3 | topics 2019

トピックス 2019

5 日本トレクスレポート:05 NIPPON TREX Report:05



愛知ブランド企業に認定【2019年2月】

「ものづくり王国」と言われる愛知県では、愛知のものづくりを世界的ブランドへ展開するため、県内の優れたものづくりをしている企業を「愛知ブランド企業」として認定しています。日本トレクスは、トレーラのシェアが日本一である点や、スワップボデーやダブル連結トラックなど、時代のニーズに合わせた製品開発を行なっている点などが高く評価され、2018年度の愛知ブランド企業に認定されました。今後も独自の強みを活かしながらお客さまのニーズに応える、持続可能なものづくりを進めてまいります。



大村愛知県知事より認定書を授与



平成30年度認定企業各社

6 日本トレクスレポート:06 NIPPON TREX Report:06



ダブル連結トラックの本格運用がスタート【2019年3月】

日本のトラック輸送業界は深刻なドライバー不足と高齢化に直面しており、人材の確保と物流の合理化が大きな課題となっています。このような社会的な要求に対して、大型トラック2台分の荷物を1人で輸送することが可能な「ダブル連結トラック」を開発。国土交通省による実証実験を経て、2019年3月から本格運用が開始されました。このダブル連結トラックは、ドライバー不足解消と、二酸化炭素排出量の削減に貢献するとともに、異なる事業者のトレーラを連結することで、企業の垣根を越えた共同輸送の取り組みも行われており、物流業界で注目されています。



中部トラック総合研修センターで実施された乗務員教習の様子

4 | management & CSR

経営とCSR

■ CSRに対する基本的な考え方

当社は、長年にわたり培ってきた技術と信頼を軸に、お客様やお取引先様などをはじめとしたステークホルダーの皆さまとともに、世の中の発展に向けて、新たな価値を創造してまいります。

2013年にCSRポリシーとして「日本トレクスビジネス行動規範」を制定し、これをベースにステークホルダーの皆さまとともにスパイラルアップしながら、社会の発展に貢献していきたいと考えています。

経営理念

顧客(おきやくさま)の信頼に応え、
満足される商品と
サービスを提供する。

ビジネス行動規範 (抜粋)

企業が効率や利益を追求し競争を行なうこと自体は、正常な企業活動です。しかし、利益の追求、競争が高ずるあまり、企業活動が社会的正義に反するものになってはなりません。日本トレクスの企業活動は、お客様やお取引先をはじめ、株主、地域社会などの数多くの人々との関係の中で成り立っており、健全な企業活動を通じて、これらの人々の期待に応える責任があります。日本トレクスは、企業としての社会的役割、責任を自覚し、社会とともに成長し発展し続けます。

4 management & CSR

経営とCSR

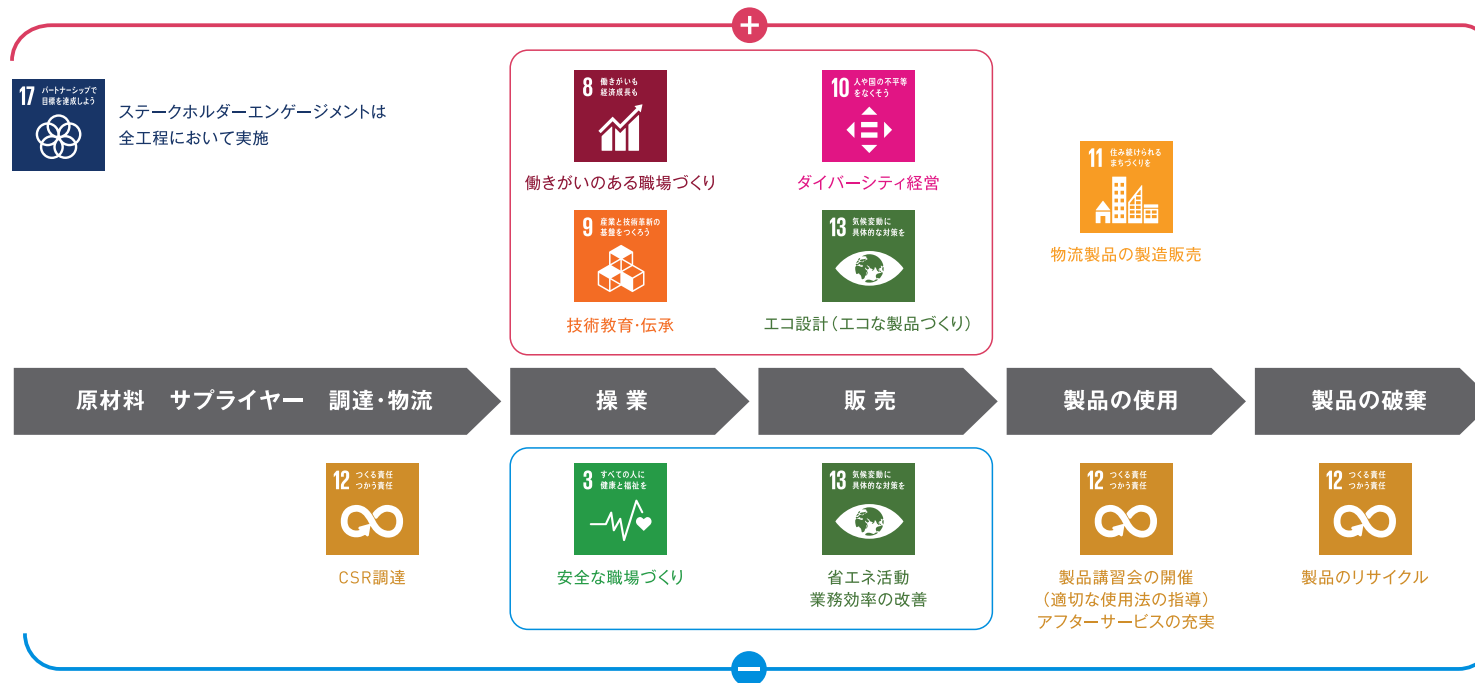
■日本トレクスとSDGs

2015年9月、国連総会で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」。SDGsはあらゆる社会課題の解決に全世界が取り組み、「誰ひとり取り残さない世界」を実現させるための17個の目標です。これを受け当社も2019年度よりSDGsに貢献する取り組みを推進しています。具体的には、2018年度に実施したCSR活動項目の刷新時にSDGsの関連付けを開始。SDGsの達成に向け、社会の一員として積極的に役割と責任を果たしてまいります。

重要課題

社会課題の解決につながる当社グループの取り組みを、バリューチェーンに沿って特定しました。事業を通じてこれらに重点的に取り組むことで、SDGsの達成と持続可能な社会の実現に大きく貢献しています。

SDGsの目標達成に向けて「正の影響」を強化することができる取り組み



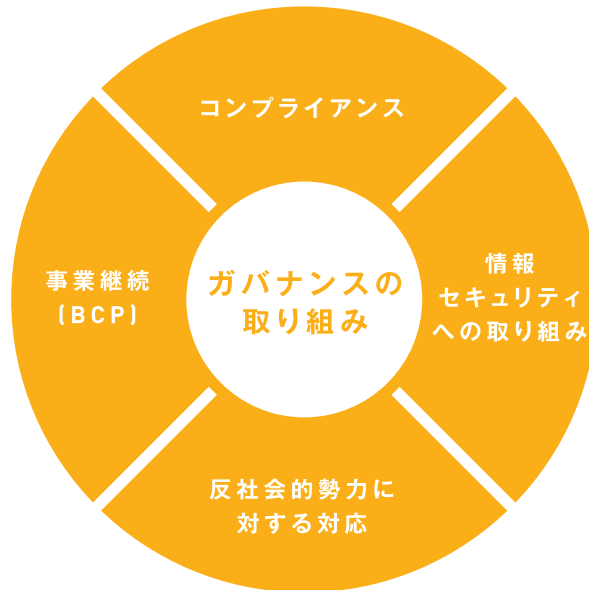
SDGsの目標達成に向けて「負の影響」を抑制することができる取り組み

5 | governance effort

ガバナンスの取り組み



■ ガバナンスの取り組み



コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は持続的な発展による企業価値の向上こそが経営上の最重要課題であると位置づけております。そのためには経営の健全性を確保し、全社に法令遵守を徹底し、企業の社会的責任を果たすことが必要であると考えております。また、今日のように社会環境が激しく変化し続けるなかで、これに迅速に対応する効率的な経営体制を構築し、さらに向上させるべく努めてまいります。

○ コンプライアンス

法令や社内のルールなど、コンプライアンスに沿った行動を従業員が取れるよう、従業員が守るべきルールを『日本トレクスビジネス行動規範』に定めるとともに、全従業員を対象にした社内ネットワーク上での『コンプライアンス教育』を実施しています。また、コンプライアンスに関する相談や不正行為等の通報のために外部機関に担当者を置いた『コンプライアンス・ホットライン』を設置し、通報者の保護を徹底した内部通報制度を運用しています。

○ 事業継続 (BCP)

当社は大規模地震など不測の事態が発生した場合の対策として「地震防災関連規定」を制定し、そのうえで人命の安全確保が最優先と考え、従業員やその家族の安否が携帯電話でいち早く確認できるシステム(オクレンジャー)を導入しています。また、各事業所や営業所では、万が一の事態に備えて防災備蓄品を常備し、復旧に向けた対応ができるよう対策しています。



備蓄食料品

防災のしおり

○ 情報セキュリティへの取り組み

当社は情報資産を適切に管理・保護するとともにサイバー攻撃等の脅威に対応すべく情報セキュリティに関する各種規定を策定し、これに基づくセキュリティ対策に取り組んでいます。また、情報セキュリティに関する意識向上と技術レベル向上のため、従業員に対して継続的に教育を行ない、その遵守の徹底を図っています。

	テーマ	実施日
情報セキュリティ教育	コンピュータウイルス感染防止の注意喚起	毎月
	ビジネスメール詐欺について	2018年6月

○ 反社会的勢力に対する対応

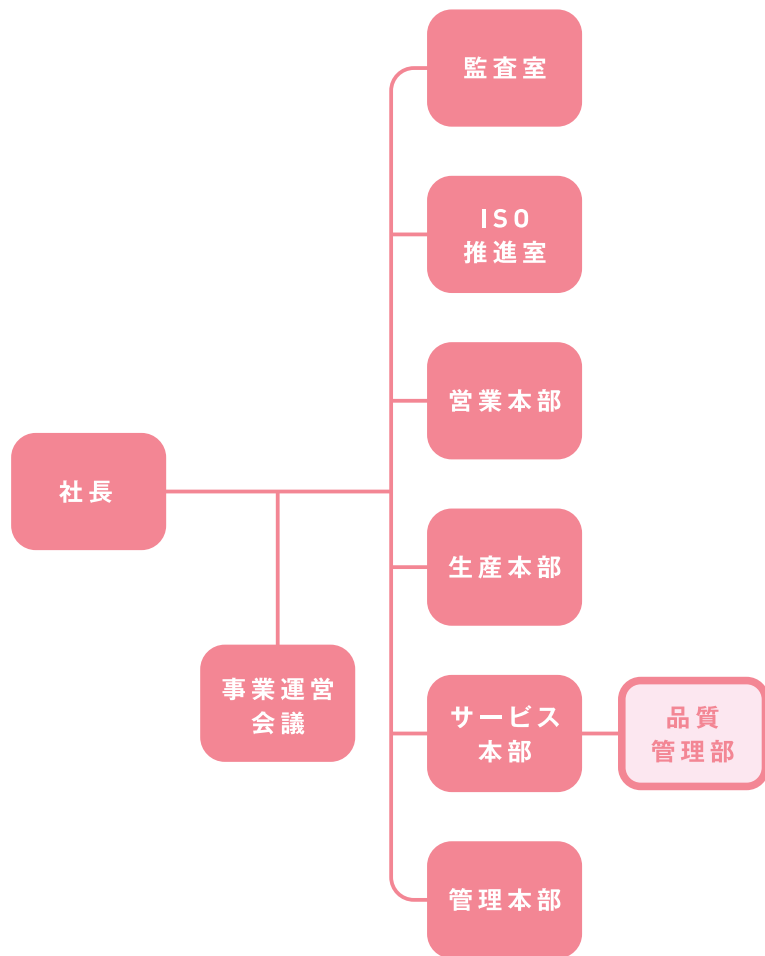
当社は社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体と一切関係を持たず断固として対決します。反社会的勢力および団体からの接触を受けた際には、警察・弁護士など外部機関との連携を図るとともに、経営トップをはじめとして全社一丸となって組織的に対応を行ないます。

6 customer & business partners

お客様と、お取引先様とともに



品質保証



品質保証体制

当社では、お客様の信頼に応え、満足される商品とサービスを提供し続けるため、社長をトップとした品質保証体制を構築しています。「品質向上会議」や「品質確認会」を定期的に開催し、使用時におけるリスクの低減を図るとともに、より良い製品づくりに向けて、改善活動を継続して行っています。



品質向上会議



品質確認会

品質マネジメントシステムの運用

日本トレクスでは全事業所で品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001(2015年度版)の認証を取得しています。各事業所では「改善計画策定」「改善実行」「達成状況の評価」「次の改善への反映」のPDCAサイクルを徹底し、製品安全の確保、品質の確保、継続的品質の改善に努めるとともに、品質マネジメントシステムの有効性監査を2000年度から継続して実施しています。

情報開示

当社製品におけるリコール・改善対策・サービスキャンペーンといった市場改修に関しては、速やかに所轄官庁に報告する体制を整えています。それとあわせて、できるだけ早期にお客様にその情報が伝わるようにホームページやダイレクトメールでお知らせを行っています。なお、リコール等の情報については、当社ホームページでもご覧いただけます。

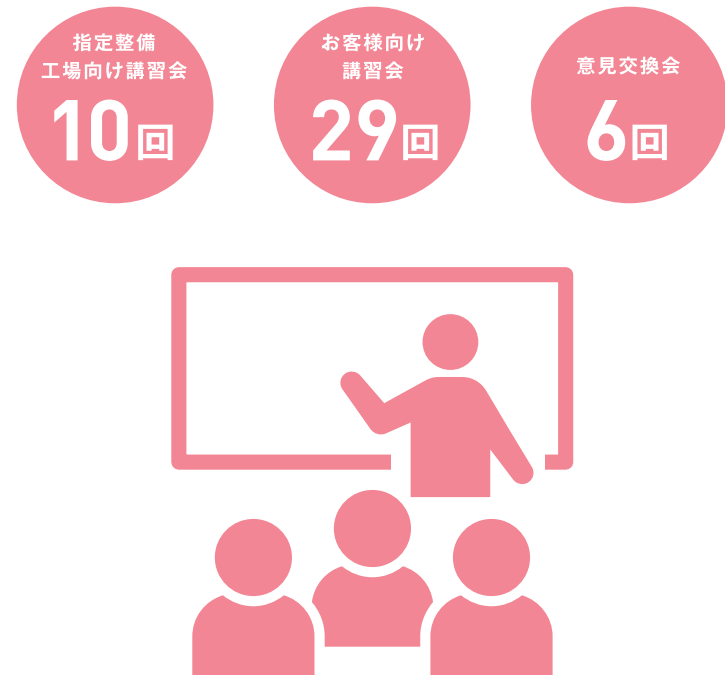
リコール等届出日	件名	対象機種
2018年 4月20日	脱着ボデー積載用キャリア(コンテナ専用車)に関する市場改修	トラック
2018年 4月26日	コンテナセミトレーラ(走行装置)に関する市場改修	トレーラ
2018年 6月15日	重量物運搬用セミトレーラ(走行装置)に関する市場改修	トレーラ
2018年 6月22日	ブレーキ関連部品の定期交換の啓発に関する市場改修	トレーラ
2018年 8月30日	後面扉のヒンジに関する市場改修	トラック
2018年12月20日	ウイングボデーに関する市場改修	トラック
2019年 1月25日	ウイング車に関する市場改修	トラック・トレーラ共通

6 customer & business partners

お客様と、お取引先様とともに



■ サービス品質向上に向けた取組み



当社では、サービス品質向上の一環として、製品が本来もっている性能をフルに発揮し、長期間にわたり当社製品を安全に安心してご使用いただけるよう、技術的な知識や整備に関するノウハウについて講習会を開催しております。2018年度は「指定整備工場向け講習会」10回、「お客様向け講習会」29回、「意見交換会」6回と、計45回の講習会を開催いたしました。今後も全国のサービス網と連携しながら、継続したアフターサービスを提供することで、お客様満足度の更なる向上を目指してまいります。

○ 指定整備工場向け/お客様向け講習会の開催

ディーラー整備担当者およびユーザー整備担当者に対し、「車軸・エアサスペンション・ブレーキ・ウイングボデー」の整備方法について、より理解を深めてもらうため、トレーニングセンターを設けて講習会を開催しています。トレーニングセンターでの講習会以外にも、トレーニング機材をお客様のもとへお届けしての出張講習も実施しています。



○ 安全講習会の開催

ドライバー・運行管理者向けの講習会で、「始業前点検・定期交換部品・構造説明」に重点を置き講習を行なうことで、安全運行に関する知識を深めていただきます。

○ 運転講習会の開催

トレーラを新規導入されるお客様を対象として、操作方法や注意事項を習得していただくことにより、トレーラの運転に対する理解を深めていただきます。

○ トレーラ新車点検制度

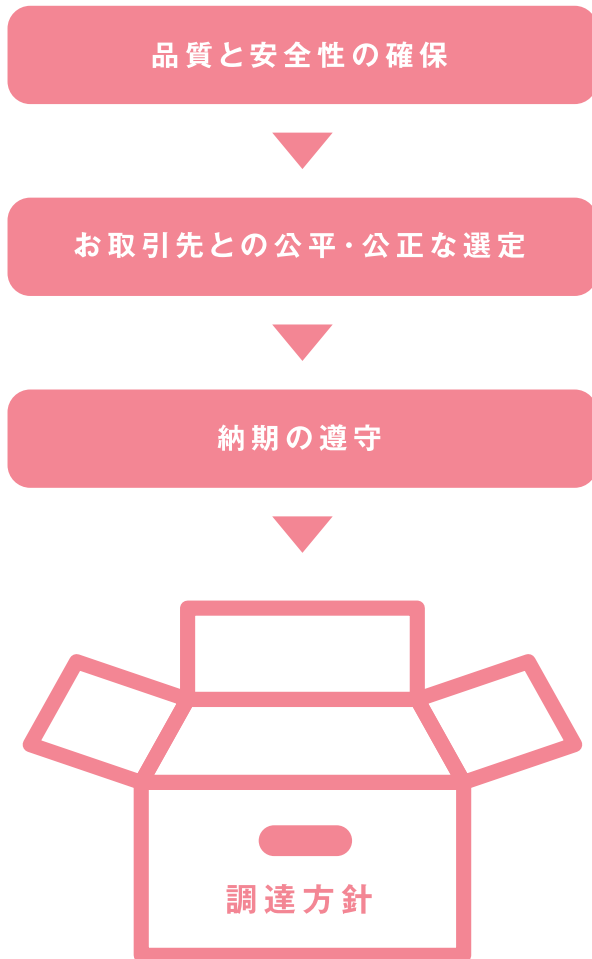
新車登録後、1ヶ月の時点で、異常がないかを確認させていただくための点検です。トレックスのトレーラは全車『1ヶ月新車点検サービス』を行っており、安心してお使いいただけるよう、エア漏れやナットの緩みなど、30項目以上にのぼる点検を無料で実施しています。

6 | customer & business partners

お客様と、お取引先様とともに



■ CSR 調達



日本トレクスは企業理念の実現のため、高品質で環境に優しくコストパフォーマンスに優れた部品や原材料、設備の調達を目指しています。そのためには、お取引先と当社が対等な立場で相互に信頼し、共存共栄できる関係をつくることが重要だと考えています。また、環境方針を資材調達活動の基本的な考え方の一つとしてとらえ、これらを基に「調達方針」を制定し、お取引先に対してご協力をお願いしています。

○ お取引先との交流

中長期的な経営戦略や生産・販売・調達に関する方針をお取引先と共有するため、毎年「総会」を開催しています。また、お取引先で構成される「協協会」とも連携し、定期的に情報を交換しています。



トレクス会 総会の様子

○ グリーン調達

地球環境・地域環境に配慮した製品を社会に提供するため、環境に配慮した活動を行なうお取引先から、環境負荷がより少ない物品を調達するよう努めています。

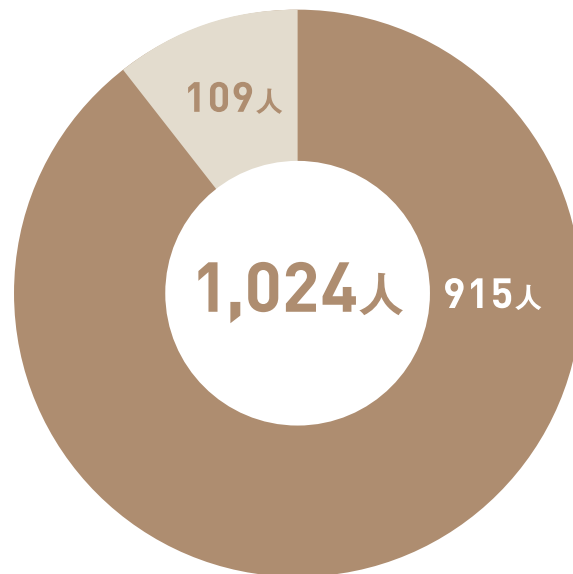
7 | with employees

従業員とともに

■ 雇用状況

日本トレクスでは、1024人の従業員が働いています。[2019年3月末時点]

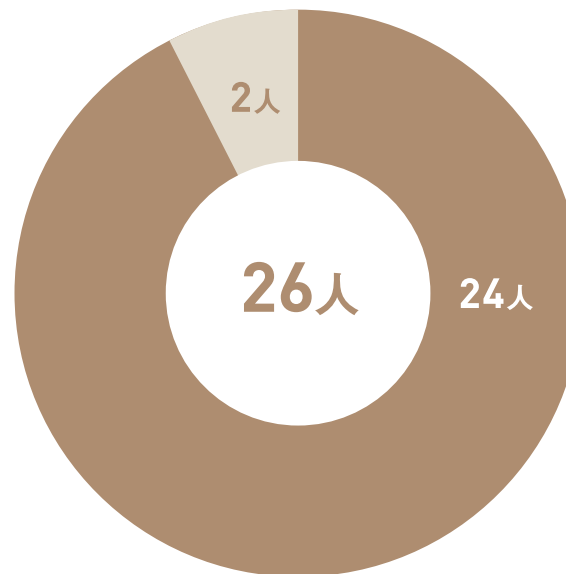
従業員数



■ …男性 ■ …女性

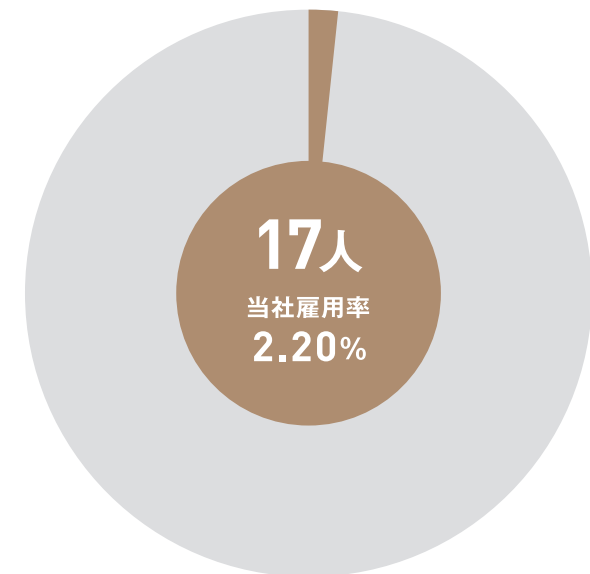
- ※正社員・契約社員・パートの合計人数
- ※出向者は出向先を含む
- ※管理者含む

新卒採用者数



■ …男性 ■ …女性

障がい者雇用人数



※法定雇用率2.20%

7 | with employees

従業員とともに



■ 育児・介護に向けた支援

従業員が安心して育児や介護に専念できるよう、短時間勤務や時間差勤務制度など、労働時間に関する制度のほか、産前産後の通院に配慮した制度や復職に際しての制度を設けるなど、「ライフ・ワーク・バランス」の実現に向けた体制づくりを進めています。

有給取得平均日数

11.4日



育休取得者数

8人
(うち男性1人)

ウイング設計課 湯浅 淳さん

産後の妻をサポートするために1ヶ月半ほど育休を取得しました。申請も問題なく許可されましたし、周りの同僚たちも快く送り出してくれ、男性社員でも育休を取りやすい環境だと感じました。育休中は3人の子どもの面倒と家事を一挙に引き受け、家事自体初心者だった私は毎日ヘトヘトになっていました。ですが、妻をサポートでき、子どもたちと接する良い機会となったので取得して本当に良かったと感じています。



特装製造課 前田真子さん

職場に先輩ママたちが何人もいたので、自分も育休を取って仕事を続けてみようと思い取得しました。職場復帰してからも送り迎えがあるため、時短で勤務しています。子どもが熱を出すと遅刻や早退をすることになり、周りに申し訳ないと感じることもありますが「その分出勤している時は」と自分なりに仕事を頑張っています。育休前よりも仕事に対する意欲が一層増えた気がしています。上司も「無理をしなくてもいいよ」と気遣ってくれ、とても働きやすい職場です。



7 | with employees

従業員とともに



■ 人材育成

従業員の成長と役割自覚、やりがい、働きがいを形成する人事制度や研修、表彰制度などを運用しています。

人事制度

従業員自身が関わった業績への自己評価やキャリア形成の意向、異動の希望などを申告する機会を定期的に設け、従業員一人ひとりが自身に求められる期待や役割を自発的に果たせる人材に成長できるよう、人事制度を運用しています。また当社では「より仕事を通じた価値創造のできる人材育成」をすすめることを目的として、2020年度より新しい人事制度の運用を予定しています。

能力開発制度

勤務年数や役職に合わせて職務に必要なスキルを身につける「階層別研修」と、職業人生における今後のキャリア形成を支援する「キャリア研修」を実施し、年間を通じて従業員自らが能力開発していく基盤づくりをサポートしています。

従業員表彰制度

〈改善実施賞制度〉では、品質・安全の向上、原価の低減など、従業員の創意工夫による改善実施の結果を適正に評価し、優秀な改善事例については、年2回開催される発表会で紹介され、従業員同士で認識を共有しています。また〈安全表彰制度〉では、安全意識を高揚し、労働災害の減少を図るため、他の規範と認められた職場を表彰し、自主的な安全衛生の推進を促進しています。

自己啓発通信教育奨励制度

語学・資格取得対策・専門技術・特殊技能などさまざまな分野の通信教育約250講座の中から、各自が自由に選択して受講することができる制度です。修了状況に応じて通信教育受講料を最大全額奨励金として支給し、従業員の自発的なスキル向上を促進しています。

技能講習会・技能検定

製品の品質向上と技能伝承を目的に、従業員を対象とした各種業務に必要な技術の講習会や検定を実施しています。

- 玉掛け技能講習
- プレス作業主任者技能講習
- ガス溶接技能講習
- 木材加工用機械作業主任者技能講習
- 高所作業車技能講習
- クレーン特別教育 他
- フォークリフト技能講習



若手営業職勉強会



改善事例発表会



クレーン技能講習(外部機関で実施)



クレーン特別教育(本社事業所で実施)

7 | with employees

従業員とともに

■ より良い職場環境へ



○ 従業員意識調査

2019年3月、全従業員を対象に働き方に関する意識調査のアンケートを実施しました(回収率96.5%)。仕事のムダ削減やワーク・ライフ・バランスの実現に向けての意見など、多数の意見が寄せられました。調査結果を踏まえ、働き方改革の社内プロジェクトで対応を検討し実行につなげています。

○ 職場環境改善

安心して働ける職場環境づくりには、従業員の安全・健康に対する配慮の徹底が不可欠と考え、健康維持・増進に向けたさまざまな施策を実施しています。

夏場の熱中症対策として、水分・塩分補給のためのスポーツドリンク、塩飴の配布を行なうとともに、新たに空調服の貸与をはじめました。また、職場環境の改善として、工場屋根の断熱化を順次すすめるとともに、スポットクーラー等の設備導入も推進しています。

熱中症対策



AED
〔自動体外式除細動器〕
の設置

本社事業所に4台、音羽事業所に2台常備しています。必要時に迅速かつ適切にAEDが使用できるよう、各職場ごとに救急救命講習修了者を配置し、来社されたお客様や従業員、地域の皆さまの万一の事態に備えています。

■ 家族工場見学会



従業員の家族を対象に「家族工場見学会」を開催し、2018年度は本社事業所において11月23日に行われました。見学会では普段なかなか見ることのできない「はたらくお父さん」の姿や、「トレーラが作られていく様子」を見て、当社への理解を深めていただくとともに、見学後には家族一緒に社員食堂で昼食をとることで、見学会を振り返りながら楽しく過ごしてもらうことができました。



12家族36名の皆様が参加



専用歩廊を使った見学の様子



社員食堂で昼食の様子

7 | with employees

従業員とともに

■ココロとカラダの健康づくり



家庭と仕事を両立させ安心して働き続けられるよう、アニバーサリー休暇の制定や、ノー残業デーの制定など、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

○カラダの健康

従業員の健康をサポートするために、健康保険組合と協同し、各種セミナーやウォーキングキャンペーンを実施しています。福利厚生として、提携スポーツクラブの法人価格での利用も推進しています。

○ココロの健康

ストレスチェックや面談を行ない、メンタルヘルスが損なわれることのないような職場づくりをすすめています。万が一、従業員がメンタルヘル스에不調をきたした場合は、専門機関と提携して医療職との面談を重ねながら、職場復帰のためのフォローを行なっています。また、管理者に対しては、専門の講師を招いて「ハラスメント研修」を開催し、誰もが働きやすい職場づくりに向けた啓蒙をすすめています。

○休暇の制定

〈アニバーサリー休暇〉では定期的に心身ともにリフレッシュを図ることを支援するため、6日間/年をアニバーサリー休暇として従業員各自が設定、計画的に年次有給休暇を取得しています。〈永年勤続制度〉では勤続10年ごとに従業員に感謝の意を表し、連続5日間の休暇を付与する制度を導入しています。

■レクリエーション



コミュニケーションの取りやすい風通しの良い職場づくりに向けて、社内レクリエーションや各種クラブ活動に積極的に取り組んでいます。



トレクスサイクリングクラブ



トレクスランニングクラブ



日本トレクスサバゲークラブ



ボウリングクラブ

8 | health and safety

安全衛生の推進



■ 安全衛生に向けた取り組み

当社では、従業員の安全と健康の確保が企業の存続の基盤をなすものと認識し、安全衛生管理規定に基づいて、さまざまな安全運動に取り組んでいます。

+

安全衛生委員会の開催

毎月1回、それぞれの職場で発生した事故やケガの状況、安全に関する取り組み事例の紹介など、安全衛生に関する情報交換や問題解決に向けた話し合いを行なっています。



安全衛生委員会の様子

+

安全巡視(パトロール)の実施

メンバーが作業エリアを分担してパトロールを実施し、不安全な作業の廃止や、不安全な状況の改善に向けて、見回り活動を行なっています。



安全巡視の様子

+

安全体感教育の実施

災害を疑似体感できる装置を用いた「安全体感教育」を協力会社を含め全従業員に実施しています。安全体感教育を実施することで、危険に対する感受性を高めるとともに、不安全行動の抑制を図り、労働災害を未然に防ぐことを目指しています。



落下体験



巻き込み体験

+

防災訓練

本社事業所と音羽事業所では、各事業所ごとに「自衛消防隊組織」を編成するとともに、いざという時に従業員自らが安全行動を取れるよう、大規模地震を想定した訓練を行っています。



消火訓練の様子

+

安全祈願の実施

本社事業所内に建立された明神社では、毎月第1営業日に、社長、役員および管理監督者による安全祈願が執り行なわれ、安全意識の高揚が図られています。

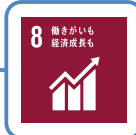


安全祈願の様子

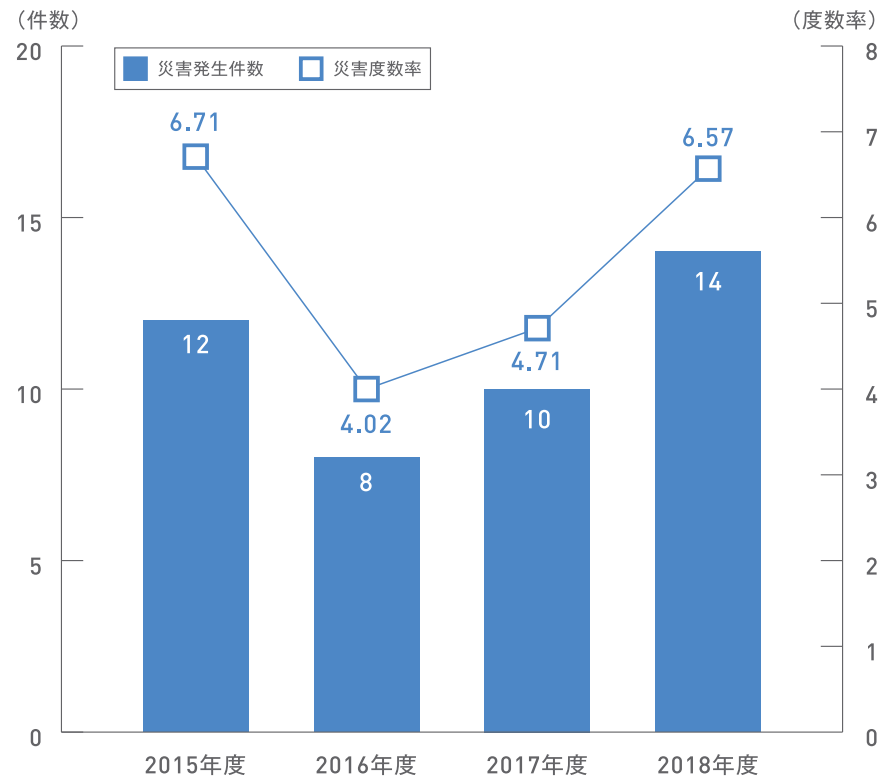
8 | health and safety

安全衛生の推進

■ 安全成績



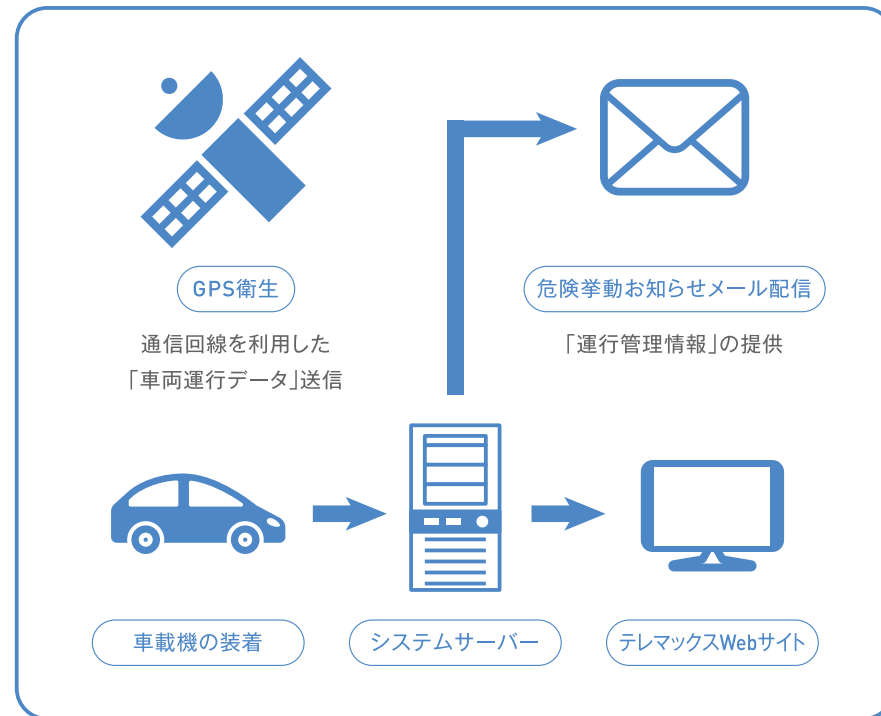
労働災害発件数の削減に取り組んでおりますが、2017年度は10件、2018年度は14件発生しました。2019年度はあらためて『労働災害ゼロ』を目標に、従業員の健康管理を含めた労災防止に努めてまいります。



■ 営業活動での安全対策



事故や災害は工場に限ったことではありません。当社では、日々の営業活動においてより安全で、且つ安心して移動できるよう、社有車に通信機能やGPS機能を備えた専用端末を取り付け、運行状況を見える化できるシステム(テレマティックシステム)を導入しています。速度超過のほか、急ブレーキや急加速といった不安全運転を察知し指導することで、社有車を使用する従業員の安全と、車による事故を未然に防止しています。



9 | environment

環境への取り組み

■ 基本姿勢

当社は生産に必要な資源やエネルギーはもちろんのこと、さまざまな点で自然から多大なる恩恵を受けて事業活動を行なっています。これを念頭に、地球環境をより良い状態で時代に引き継ぐための活動を、あらゆる事業の場面で自主的かつ積極的に行っています。私たち人類にとって、地球環境はかけがえのないものです。当社は、環境を守ることが企業の責務であり、経営の重要課題であると考えています。



■ ISO14001への対応

環境保全活動を組織的に運営していくため、2005年に本社事業所と音羽事業所の2つの事業所においてISO14001の認証を取得しています。

1 環境問題に積極的に取り組み循環型社会を追求する

2 地球環境の保全に役立つ技術開発を指向する

3 公害防止、省エネルギーに配慮する

4 製品の再資源化に注力する

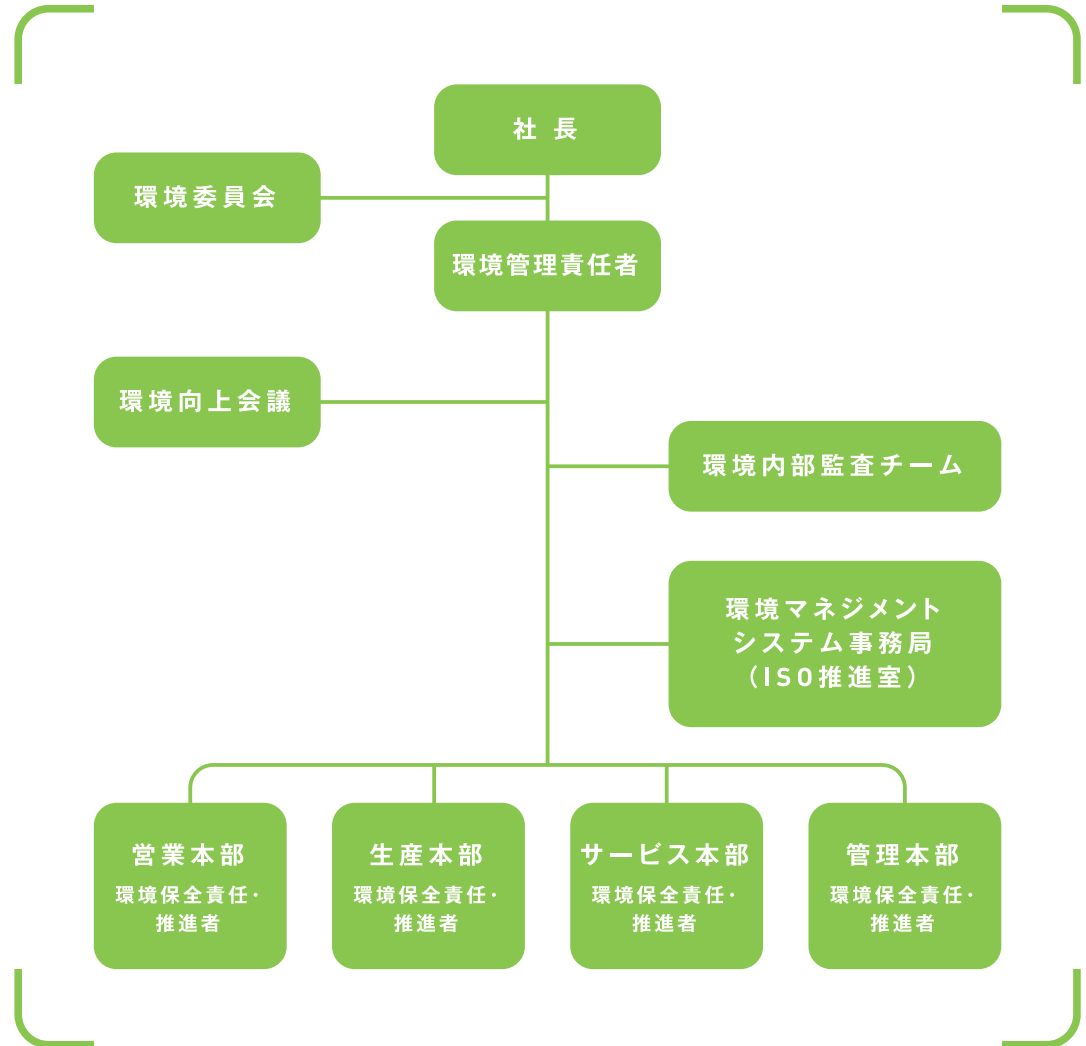
5 良好な環境の維持向上に努める

9 | environment

環境への取り組み

■ 推進体制

社長を環境最高責任者とする推進体制を構築しています。また、対象部署では各部長を環境保全責任者、各課長を環境保全推進者とし、部署ごとに1名以上の推進担当者を配置して活動の底上げを図っています。



9 | environment

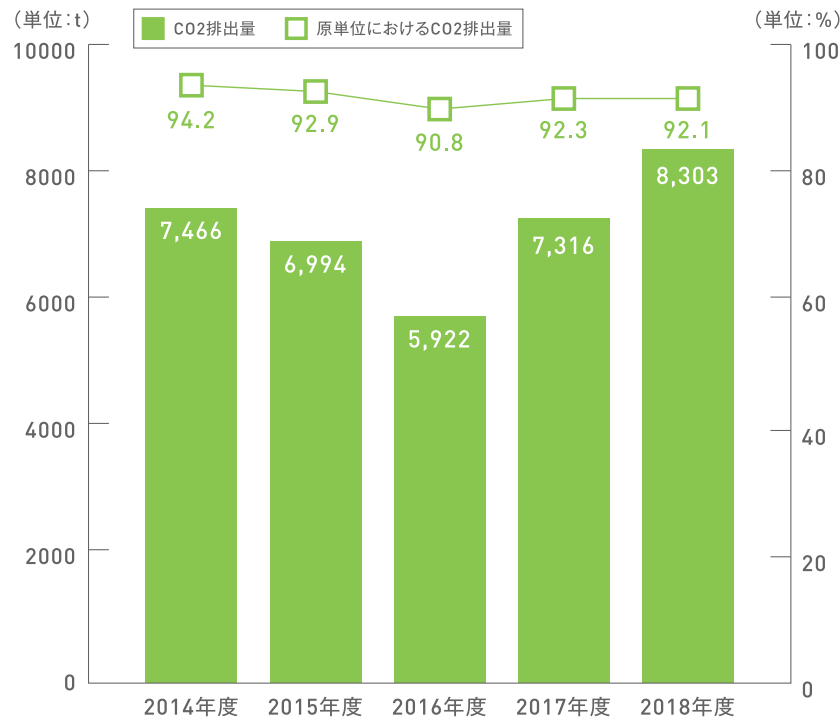
環境への取り組み

■ 脱炭素社会にむけて



施設内照明のLED化、省エネ機器の導入、社用車への次世代車両導入、太陽光発電の実施など、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。今後は生産工程を含めた業務効率の改善に重点的に取り組み、事業活動全体での脱炭素化を目指します。

○ エネルギー使用による二酸化炭素(CO2)排出量の推移



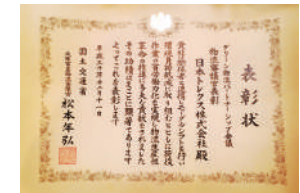
■ 物流効率の改善による省エネ



丸吉運輸機工(株)様ほか2社と「27トン改良アオリ(ジャバラ型)フェリーシャーシ」を共同開発し、その車両を活用した海上輸送の取り組みが認められ、2018年12月「グリーン物流パートナーシップ会議」の国交省物流審議官表彰を受賞しました。この賞は、物流分野での二酸化炭素排出削減や生産性向上において特に顕著な取り組みをあげた事業者に授与される賞です。

○ 評価されたポイント

- ①積載量拡大による輸送効率の改善とドライバー不足の解消
- ②扱いやすいジャバラ型の幌導入による、作業軽減と安全性の向上および生産性向上



27トン改良アオリ型(ジャバラ型)フェリーシャーシ

9 | environment

環境への取り組み

■ 環境リスクを減らすために



○ 定期的な排水の水質調査

当社は、環境マネジメントシステムを運用するにあたり、法令順守を大前提に管理を行なっています。定期的に排水・騒音・粉塵などを測定管理し、違反につながる事例については、早急に改善を行ない再発防止に努めています。



○ 近隣住民の生活環境の保全

春と秋の年2回、事業所周辺にお住まいの方々へ騒音・粉塵・臭いなどでご意見がないか聞き取り調査を行ない、地域住民の皆さまとの良好な関係を築くべく改善活動に役立てています。

○ 御津1区車両プール開設

御津1区工業団地内に650台駐車可能な車両プールを開設しました。遠方に複数借りていた車両プールを1カ所に集約したことで、事業所間の回送距離が大幅に減少し、CO2削減を行なうことができました。



水質調査の様子



御津1区プール

■ 省エネルギー活動



○ モーダルシフト

完成品の陸送を行うにあたりフェリー輸送を積極的に活用することで、エネルギー消費効率の向上およびCO2削減に努めています。

○ 自然エネルギーの有効活用

音羽事業所の屋上に太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの有効利用と環境負荷の低減に努めています。



陸送時の海上輸送の活用



音羽事業所屋上の太陽光発電パネル

9 | environment

環境への取り組み

■SOCフリー化に向けた取り組み



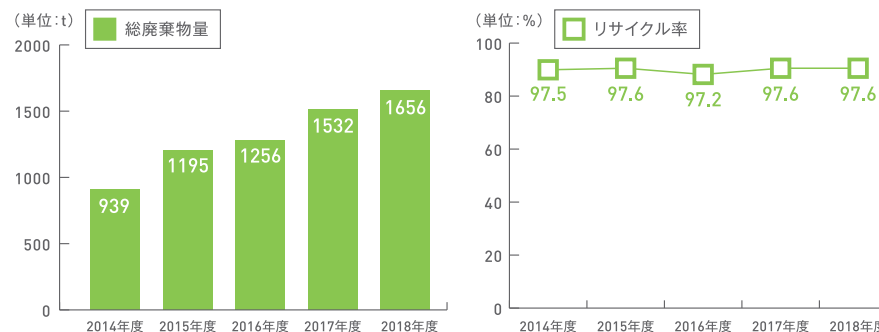
当社では、『欧州廃車指令(ELV指令:End of Life Vehicle)』、業界団体である一般社団法人、一般社団法人 日本自動車車体工業会の『環境負荷物質自主取り組み基準』、およびお客様からの要求を踏まえ、2005年よりSOC(カドミウム・鉛・水銀・六価クロム)フリー化に取り組んでまいりました。結果としてトラック系に続いてトレーラ系においても2010年度末に自主基準を達成しました。今後はエビデンスの徹底管理によるSOCフリー化の維持とともに、製品に対するお客様からの新たな化学物質管理の要求に適切に対応していくため、生産本部長をトップとする管理体制を敷き、化学物質の管理強化に取り組んでまいります。

■循環型社会に向けて



限りある資源を大切に利用するためにも、また廃棄物による地球環境への負担を減らすためにも廃棄物削減は重要です。当社では事業活動で発生する廃棄物削減とリサイクル向上に努めており、90%以上のリサイクル率を実現しています。今後はプラスチックゴミなどの廃棄物の総量削減に向けた取り組みをすすめてまいります。

○総廃棄物量とリサイクル率の推移



○産業廃棄物処理費用低減

スチレンやプラスチック・ビニールを社内で圧縮加工することで処理費用の低減を行なっています。



圧縮加工された廃棄物

10 | community involvement

地域社会とともに



■ 地域との協業：01



[明神祭の開催(11月第1土曜日)]

地域との交流、地域への社会貢献の機会として、祭りやイベントなどに協賛・参加しています。日本トレクスでは毎年11月第1土曜日に本社敷地を開放し、従業員とその家族、近隣住民の方々を招待した「明神祭」を開催しています。

2018年度の明神祭も約1700名の方に来ていただき大盛況でした！今回は「トレクス天オクイズ」という会社に関する〇×クイズを実施し、優勝者には「トレクス博士」の称号と豪華景品を中島社長から手渡しさせていただきました。ステージのバンド演奏や模擬店なども大変盛り上がり、たくさんの方々の笑顔が見られるイベントとなりました。



総務課 橋本亜美さん



明神祭の様子



[社会科見学の受入れ]

ものづくりへの関心と地域産業への理解を深めてもらうことを目的に、地域の小学生を招待し工場見学会を開催しています。2018年度は小坂井西小学校から5年生90名程の生徒が来社し、大きなトレーラが作られていく様子を見学いただきました。



社会科見学の様子



[インターンシップ・職場体験学習生の受入れ]

就職後に実践的な能力を発揮出来るよう、在学中に「学外実務訓練」をカリキュラムに取り入れる学校が増えています。当社もその要請に応えるべく、就業体験をしてもらうことで、職業観の形成、キャリアプランの構築など、将来の就業に活かすことができるよう支援しています。

10 | community involvement

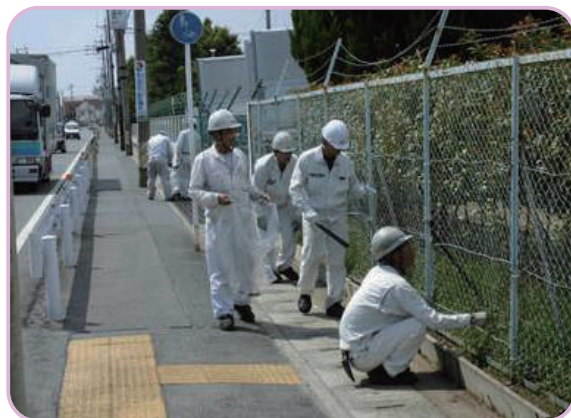
地域社会とともに

17

パートナーシップで
目標を達成しよう



■ 地域との協業：02



【工場周辺清掃活動】

きれいな街づくりは安全・安心の第一歩という考えのもと、工場周辺道路を中心に、定期的に清掃活動を実施しています。活動の結果、環境保全の意識が高まり、年々ゴミの量は減少しています。今後も継続した活動を実施することで、環境活動の保全に努めてまいります。



【コンビニ経営】

本社事業所敷地内に「ローソン日本トレクス店」がオープンしました。店舗は日本トレクスが運営し、一般のお客様にも開放しています。従業員への福利厚生としてだけでなく、暮らしやすい街づくりの観点でも貢献を行なっています。

こんにちは。日本トレクスOBで店長の中田 光一と申します。このコンビニエンスストアは従業員の福利厚生の充実、OB再雇用、近隣住民の皆さまへの地域貢献を目的としてオープンしました。①お店を綺麗に ②心のごもった接客 ③喜んでいただける売り場作りをモットーに地域に愛されるお店作りを目指してまいります。



コンビニと工場をつなぐ専用ゲート



店長 中田 光一さん



【プラモデルメーカーとのコラボレーション】

青島文化教材社協力のもと、トレクス主力製品でもある「コンテナセミトレーラ」をプラモデル化して一般販売し、製品PRをすると同時に、文化・教育の分野に貢献しています。



プラモデルパッケージ

編集方針

本報告書では持続可能な社会の実現に向けた、日本トレックスの取り組みを今後の計画とともに報告しています。

報告範囲・対象期間

対象組織 日本トレックス株式会社を中心にグループの活動を報告しています。

対象期間 2018年4月1日～2019年3月31日

〔一部記事には2019年4月以降の内容を掲載しています〕

対象読者 日本トレックスに関わる全てのステークホルダーの皆さま

発行日 2019年12月